

“第4回遺伝子治療国際シンポジウム” ～遺伝子による感染症及び神経変性疾患の予防と治療法の開発～

主 催：特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議

後 援：近畿経済産業局、財団法人 大阪科学技術センター、日本遺伝子治療学会

バイオテクノロジーの創薬分野の中でも遺伝子治療は、将来有望な治療手段として社会の注目を集めて参りました。ウイルスベクターによる副作用の報告以来、その難しさが明らかになってきましたが、一方では着実に研究が進行し、それを取り巻く推進体制も徐々に整備されてきております。第3相試験に突入した遺伝子治療も約20件ののぼります。遺伝子治療が万能薬になるかどうかは不明としても、難病に対する重要な治療法として、その存在価値がますます高まって行くであろうことは確実です。今回は今後遺伝子治療が主役になるのではないかとと思われる感染症とアルツハイマー病の予防法及び治療法に焦点を当て、最前線の演者による国際シンポジウムを開催することと致しました。このシンポジウムが我が国における遺伝子医療の普及や創薬関連産業の進展に貢献することを祈念致します。

日 時：平成18年2月3日（金）13:00 – 18:00

場 所：千里阪急ホテル（豊中市新千里東町2-1-D-1 TEL:06-6872-2211）

参加費：無料

問い合わせ：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議（遠山、井上、大嶋）

TEL：06-6459-6795 FAX：06-6447-7011

E-mail：moshima@kinkibio.com